

平成18年 / 2006

No. 8
野口遵顕彰会

野口 遵

顕彰会だより



ごあいさつ

野口遵顕彰会

会長 清本英男

秋冷の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当野口遵顕彰会に対しましてご高配・ご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、本年度は各事業とも順調に推移し、『野口賞』授与式および校外授業「会社はどんなところ!!」を残して終了いたしました。実施状況につきまして別紙のとおりご報告いたします。

『ジュニア科学者の翼』事業では、野口研究所のご高配により、昨年度からこの『ジュニア科学者の翼』に参加した中学生の皆さんの中から優秀な生徒1名に対して、高校入学時から高校在学の3年間、毎年10万円の「学修奨励金」が授与されることになり、いっそう充実いたしました。

また、『野口賞』授与事業についても、今回から新たに「産業振興奨励賞」と「学術振興奨励賞」を設けましたが(それぞれ賞金30万円)、今回早速両部門において受賞者が決定いたしました。

当野口遵顕彰会は発足して6年が過ぎ、10年目に向けて一層の充実・発展に鋭意努力してまいります。今後とも皆様方のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成18年10月

青少年科学技術派遣

《第6回『ジュニア科学者の翼』》

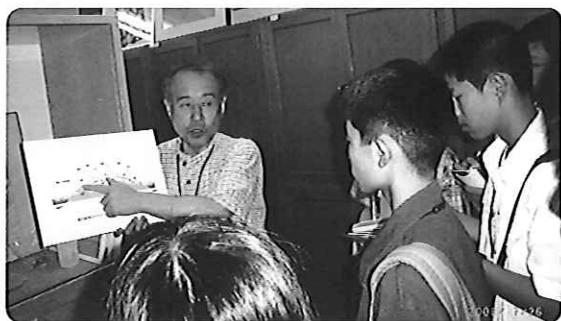
科学技術への関心を高め、“夢”と“ロマン”を持って21世紀で活躍する人材への成長を期待して、今年も去る7月25日(火)～28日(金)の3泊4日の日程で実施しました。

訪問した科学館は、最先端の科学技術、医療、情報、環境、自然、宇宙等のフロンティア開発、産業など多岐の分野にわたりそれぞれ個性、特色のある内容で、さまざまな角度から科学に対する疑問、科学の不思議さを見て・触れて・確かめることができ

る工夫がなされていました（東芝科学館、日本科学未来館、千葉県立現代産業科学館）。参加した皆さんは科学の不思議さを楽しんで理解することができて、科学に対する興味、関心がいっそう深まりました。

また、国立極地研究所、野口研究所は専門的な研究所で、研究内容は難しいものもありましたが、身近な例で興味が持てるよう大変わかりやすく説明していただきました。特に国立極地研究所では、南極に落ちた多数の“隕石”を見たり、雪上車に乗ったりマイナス20度Cの体験をしました。

新しい科学技術分野を切り開いていく世界的に高いレベルの研究や研究者に触れることができたことは、参加した生徒の皆さんの発想を豊かにし、将来の夢、目標の指針として大いに役立ったことと思います。



『ジュニア科学者の翼』に参加した生徒および
学校名（男子7名：女子4名）

氏名	学校・学年	氏名	学校・学年
高島 健太	延岡中学校2年生	戸川 秀一	尚学館中学校2年生
村社 啓介	恒富中学校2年生	福山 聡子	東海中学校2年生
河野 祐一	南中学校2年生	甲斐 蘭澄	黒岩中学校2年生
小島 光貴	東海中学校2年生	神菊 真子	南方中学校2年生
小田 大和人	土々呂中学校2年生	甲斐 さなえ	八戸中学校2年生
平野 恵士	三川内中学校2年生		

※引率 権藤俊英 延岡市教育委員会主任主事

副読本縮刷版の配付事業

《「のべおか新興の母 野口 遵」》

この事業は、野口遵翁の科学者として、また、世界的な事業家としての業績や延岡市の発展に多大な功績を残したことなどを、中学生の皆さんによく知ってもらうために、昨年を引き続いて、中学校副読本「のべおか新興の母 野口遵」(冊子)の縮刷版(B6版)を、延岡市、高千穂町、日之影町の中学校24校の2年生全員に5月末に配付いたしました(計1,800冊)。



各中学校では朝の読書の時間を活用するなどして、生徒の理解を深めるのに役立っています。

第6回『野口賞』授与事業

《新設の「産業振興奨励賞」、「学術振興奨励賞」に受賞者決定》



第6回『野口賞』に4件の応募がありましたが、選考委員の皆様による慎重かつ厳正な審査の結果、今回より新設いたしました「産業振興奨励賞」および「学術振興奨励賞」に受賞者が次のとおり決まりました。

授賞式は11月20日(月)ホテルメリージュ延岡にて行い、賞状と賞金30万円を贈呈いたします。また授賞式に引き続き、受賞者による講演が行われます。

産業振興奨励賞

- ◆応募者 宮崎県農業試験場生産物流部 代表 宮沢 潤 様
- ◆応募テーマ 『食べる前に結果が分かる“宮崎方式”残留農薬迅速分析法の開発』

学術振興奨励賞

- ◆応募者 吉玉精鍍(株)研究開発部 主任 さな 真 隆 志 様
宮崎大学 名誉教授 河 野 恵 宣 様
宮崎大学工学部 助教授 塩 盛 弘 一 郎 様
- ◆応募テーマ 『無電解ニッケルめっき廃液処理装置の開発』

“校外授業『会社はどんなところ!!』” 事業

《延岡市中学校「校長会」がプラノバ工場見学》

昨年度から新たな事業として延岡市内の中学生を対象に、市内の各企業を訪問して、その企業の優れた技術とその技術が社会でどのように役に立っているか、また、経営者から「経営の理念や考え方」などの貴重な話を直接聞いて現在社会を理解し、生徒たちの考え方や今後の進路の参考に資することを目的に実施しています。

去る8月9日(火)延岡市中学校「校長会」16名の皆様が、旭化成の展示センターとプラノバ工場を見学して、この事業について理解を深めていただきました。

今年度は第4回目として、来る12月12日(火)南方中学校2年生20名が、旭有機材工業(株)を訪問してバルブの製造工程を見学する予定です。



「賛助会員」募集について(お願い)

当顕彰会では「賛助会員」を募集しています。顕彰会の趣旨・目的にご賛同下さる皆様のご紹介をよろしくお願いいたします。

賛助会費は、

(法人) 1口 1万円/年間 ; (個人) 1口 1,000円/年間

※1口以上何口でも結構です

なお、ご入会を希望される方がいらっしゃいましたら、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

●連絡先

野口 遵 顕彰会 事務局

〒882-0824

宮崎県延岡市中央通り3-5-1 (延岡商工会議所内)

TEL (0982) 33-6666

